

道路

東小川橋西側に横断歩道の設置を

立花隆一議員(公明) 東小川橋における通学時の歩行者と車両通行の実態は。

テニスクラブ跡地に建設される公園北側の出入口から、十二小などに通学する子どもを守るため、東小川橋西側に横断歩道を設置できないか。

西側に設置できない場合の交通安全対策はどうか。
市長 立川通りの抜け道になつており、十二小通りから東小川橋を利用し、立川方面へ通行する車両は多いと認識している。横断歩道の必要性を感じており、警察署に要望したい。各種講習会等を通じて広報活動と、学校を通じて安全な通学路の指導を行いたい。

東小川橋(上水新町二丁目)



あかしあ通りの景観

斉藤一夫議員(政和) 学園東小東交差点の歩道橋は、塗装が古くさびが見受けられる。市の対応策が必要かと思われるがどうか。

関東管区警察学校の南側正面付近では既設コンクリート塀



学園東町歩道橋(あかしあ通り)

を撤去し、新設フェンスを設置した。あかしあ通り側も景観を改善する観点から同じような整備工事を施工できるよう、関係機関と調整を行えないか。
市長 塗装による改修の時期を迎えているが、歩道橋近くに横断歩道や信号機が設置されたことなどから利用する人が少なくなり、周囲の状況等も変わっていることから、撤去する方向で検討していきたい。

敷地周囲のコンクリート塀については、あかしあ通りも含め、南側の正門と同じ構造での整備を要望していきたい。
市長 撤去する方向で検討していきたい。

市内歩道橋の維持管理及びその必要性

常松大介議員(緑ネ) 老朽化が激しく危険な状態の歩道橋があると聞くが、歩道橋の必要性と今後の方向性は。
市長 歩道橋の位置と維持管理方法、及びその費用は、撤去した場合の費用は5か所ある。現在危険な状態のものはないが、学園東町歩道橋は、近くに横断歩道や信号機があるため、撤去する方向で検討したい。残りの4か所は、通学路等に利用され、必要性は高い。あかしあ通りに1か所、鉄道を横断するものは、東部公園

緑川通りの交通安全対策

原邦彦議員(公明) 仲町付近の交通事故発生状況は、交差点にカラー舗装等の安全対策を講じる考えはないか。
市長 あかしあ通りに1か所、鉄道を横断するものは、東部公園

歩道がない、または片側し

か歩道のない道路をカラー舗装で区分し、歩道を確保する考えは。適所に事故防止のための看板等を設置できないか。
市長 平成13年8月から今年8月までで48件と聞いている。信号機が設置されていない交差点には、状況に応じてカラー舗装を行っている。

カラー舗装により安全性が改善される見通しのある路線については、設置を検討したい。看板の統廃合を含め、適所に設置することを検討していく。路側帯及びカラー舗装の設置を予定している。

福祉

一橋学園駅北口に、盲人用も含めた歩行者用信号機の設置を

斉藤進議員(フオ) 一橋学園駅北口には、歩行者用の信号機がないため、視覚障害者にとって渡ることが非常に困難である。事故防止のために、盲人用も含めた歩行者用信号機を設置すべきではないか。
市長 踏切に隣接した市役所西通り等も狭隘であるので、拡幅整

年生活者が医療費より入院費に悩んだときどうするか

斎藤敦議員(フオ) 入院費の動向について、高くなっている事実はあるか。
市長 市町村が補てん施策を考

るのは無理があるが、そういうときの対応策、アドバイスは。入院と在宅の連動について現在変化はあるか。
市長 平成14年度の医療制度改正時に、全国的に高齢者1人当たりの医療費は一たん減少したが、その後再度増加傾向にある。市も同様の傾向にあり、本人の負担もふえていると思われる。

負担増を理由に入院から在宅に移行していると位置づけることは一概には言えない。退院の受け皿としては、在宅及び介護保険施設も考えられる。

民生委員活動によりよい支援の拡大を
鴨打喜久男議員(政和) 民生委員の活動をどのように評価し、感謝を表しているか。活動支援についてどのよう

なことが行われているのか。市独自に経費負担の新設あるいは増額ができないか。
市長 社会奉仕の精神で、行政と地域を結び重要な役割を担っており、国、都、小平市それぞれが在職期間等の基準により表彰等を行っている。都、市では、経験件数に応じた研修会等を行っている。研修の旅費等を支援している。さらに新設や増額は考えていないが、円滑な活動ができるような支援は続けたい。

生活保護の財源見直しによる市財政への悪影響

斎藤敦議員(フオ) 国庫負担引き下げを実施する可能性はどの程度と考えるか。
市長 予算組みにも大きな影響が出るが、どのようなスケジュールで対応していくことになるか。予算面以外に影響は出るか。

介護保険の現状と来年度改正に向けて

佐藤充議員(共産) 7月に出された社会保障審議会の介護保険制度見直しに関する意見をどう受けとめているか。
市長 介護保険と支援費との統合に対しての市の立場は。見直し具体化への検討会議

介護保険の運営協議会をスタートすべきと思うかどうか。小規模・多機能型サービス

ユニバーサルデザインに基づくまちづくりを

原邦彦議員(公明) 小平市におけるユニバーサルデザインの考え方は。
市長 心のユニバーサルデザインの考え方を職員全体に取り入れ、事業に生かすことで、だれもが安心して、喜ばれる行政サービスが行えると考えられているか。

市長 高齢者や障害者のために特別なサービス等を提供するバリアフリーの考えから一歩進んで、すべての人たちが利用しやすい、住みやすい環境をつくり出そうというものである。職員全体に考え方を取り入れることは、大切なことと認識している。今後もユニバーサルデザインの考え方も含め行政サービスの向上に努めたい。

子どもや高齢者に優しい、市民総合体育館プールに改善を

立花隆一議員(公明) プールの利用実態はどうか。
市長 介護予防の観点から、高齢者の水泳指導は考えられないか。高齢者の利用をさらに促進するための事業は考えられないか。

再び、小平市における積極的な障がい者就労支援を

斎藤進議員(フオ) 平成19年度までに設置する就労支援センターの進捗状況は。事業内容に職場開拓などを含むか。
市長 新たに就労・就職にかかわる当事者や親の要望・意向調査を詳細に行うべきではないか。市のさまざまな場でジョブコーチを併つ就労支援が可能か。積極的な職場訓練と、各団

体との連携で職場開拓を行うなど、障害者雇用の増進に寄与すべきではないか。手紙等の一般活字を朗読・点訳するブライベートサービスを受けることができないか。

再び、小平市における積極的な障がい者就労支援を

市長 経済情勢等を総合的に検討している。事業内容は職業相談、職場開拓等である。ケースワーカーが要望等を確認しているため、調査を詳細に行うことは考えていない。困難な面があると考えられる。センター設置に合わせて関係機関による就労支援ネットワークの整備も必要だと考える。ブライベートサービスを提

供することは考えていない。市長 平成15年度の利用率は、地下駐車場の平均99.8%で、西側駐車場は平均89%である。地下駐車場の平均82.4%で、西側駐車場は、49.9%である。当日使用されない駐車券は、ほとんど返却されない。駐車場をつくらせてほしい、駅から大変近く便利で使いやすいという意見があった。駐車場を入館者へ開放するのは、困難と考える。

中央公園グラウンドなど市内の砂じん対策

木村まゆみ議員(共産) 校庭、グラウンド、畑などの砂じん対策の現状は。
市長 中央公園グラウンドの砂じんによる健康被害の現状を認識しているか。公共施設や小・中学校など

水泳教室(市民総合体育館プール)

市長 茶の木や生垣などにより対策をとっている。

等。教育長 乾燥時期等には、今後モスプリンクラー等により散水を行ってほしい。詳細は把握していない。萩山公園グラウンド等の3か所と、小学校6校に設置しており、それ以外の小・中学校には散水設備を完備している。

公共施設

子どもや高齢者に優しい、市民総合体育館プールに改善を

立花隆一議員(公明) プールの利用実態はどうか。
市長 介護予防の観点から、高齢者の水泳指導は考えられないか。高齢者の利用をさらに促進するための事業は考えられないか。

再び、小平市における積極的な障がい者就労支援を

市長 経済情勢等を総合的に検討している。事業内容は職業相談、職場開拓等である。ケースワーカーが要望等を確認しているため、調査を詳細に行うことは考えていない。困難な面があると考えられる。センター設置に合わせて関係機関による就労支援ネットワークの整備も必要だと考える。ブライベートサービスを提

供することは考えていない。市長 平成15年度の利用率は、地下駐車場の平均99.8%で、西側駐車場は平均89%である。地下駐車場の平均82.4%で、西側駐車場は、49.9%である。当日使用されない駐車券は、ほとんど返却されない。駐車場をつくらせてほしい、駅から大変近く便利で使いやすいという意見があった。駐車場を入館者へ開放するのは、困難と考える。

中央公園グラウンドなど市内の砂じん対策

木村まゆみ議員(共産) 校庭、グラウンド、畑などの砂じん対策の現状は。
市長 中央公園グラウンドの砂じんによる健康被害の現状を認識しているか。公共施設や小・中学校など

水泳教室(市民総合体育館プール)

市長 茶の木や生垣などにより対策をとっている。

等。教育長 乾燥時期等には、今後モスプリンクラー等により散水を行ってほしい。詳細は把握していない。萩山公園グラウンド等の3か所と、小学校6校に設置しており、それ以外の小・中学校には散水設備を完備している。

ルネこだいらの駐車場のあきをなくして有効活用を

華表 曉議員(共産) 駐車場の利用率は。主催者団体に発行する駐車券の利用率と、当日使用されていない駐車券の扱いは。
市長 駐車場や交通手段について、市民からどんな要望があるか。駐車場の有効活用を図るための考えは。

市長 平成15年度の利用率は、地下駐車場の平均99.8%で、西側駐車場は、平均89%である。地下駐車場の平均82.4%で、西側駐車場は、49.9%である。当日使用されない駐車券は、ほとんど返却されない。駐車場をつくらせてほしい、駅から大変近く便利で使いやすいという意見があった。駐車場を入館者へ開放するのは、困難と考える。

中央公園グラウンドなど市内の砂じん対策

木村まゆみ議員(共産) 校庭、グラウンド、畑などの砂じん対策の現状は。
市長 中央公園グラウンドの砂じんによる健康被害の現状を認識しているか。公共施設や小・中学校など

水泳教室(市民総合体育館プール)

市長 茶の木や生垣などにより対策をとっている。

等。教育長 乾燥時期等には、今後モスプリンクラー等により散水を行ってほしい。詳細は把握していない。萩山公園グラウンド等の3か所と、小学校6校に設置しており、それ以外の小・中学校には散水設備を完備している。